

2026 年冬季オリンピック・パラリンピック札幌招致を応援する

指定都市市長会決議

1972 年 2 月にアジア初の冬季オリンピックを開催し、それ以来、世界の冬季スポーツを牽引してきた札幌市は、2026 年冬季オリンピック・パラリンピックの招致実現を目指した活動を行っています。

世界中の人々が集うオリンピック・パラリンピックが、54 年の時を超えて、札幌の地で開かれれば、大会運営や国内外からの観客に対するおもてなし、関連文化プログラムの取組、インフラ整備など、ソフト・ハードの両面で指定都市が持つ総合力を世界に向けて発信する絶好の機会となることは間違いありません。

さらには、2020 年の東京開催に続いてオリンピック・パラリンピックが日本で開催されることにより、国際社会における日本の存在感がより一層示され、札幌・北海道のみならず日本社会全体の活性化につながっていくことが期待されます。

何よりも、オリンピック・パラリンピックの開催意義は、オリンピック憲章に謳われているように、スポーツの栄光にとどまらず、「人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会を奨励することを目指し、スポーツを人類の調和の取れた発展に役立てること」にあります。

このような意義を有するオリンピック・パラリンピックが開催されることにより、世界平和に貢献するとともに、日本、ひいては世界の将来を担う子どもたちに大いなる夢と希望を与え、平和の素晴らしさを感じる機会を与えることとなります。

2026 年冬季オリンピック・パラリンピックの札幌招致の実現に向けて、指定都市市長会は、札幌市の招致活動を応援していきます。

平成 28 年 月 日
指定都市市長会